

四月度 留学報告書

教育地域科学部 地域科学課程

三浦奈央

第一回目の報告として、ハンブルクという町とハンブルク大学の紹介、そして四月中に行った手続き等についてお伝えしようと思います。

ハンブルク市は、ドイツの北部に位置する町で、古くより交易で栄えた街です。規模はベルリンに次いで大きく、公共交通機関も整備され様々な人々の暮らす都会町と言えます。私の住む寮は、17階建ての学生寮で、多くの留学生が住んでいます。二つの最寄り駅はとても多くの路線と接続でき、ハンブルク中央駅へは一駅でたどり着きます。交通の便が良い、住みやすい立地です。



ハンブルク大学は、その寮から Uバーンと呼ばれる地下鉄で 5 駅、降りてからの徒歩も含め 20 分ほどのところにあります。アジアアフリカ研究所、略称 AAI をよく利用します。ここは日本語学科が含まれている建物であり、担当の先生方やチューターが拠点にしている建物なので、日本語を学ぶいろいろな学生と出会うことができます。



また、ドイツ語の授業を履修する人は、別の建物で授業を受けることになります。同じ建物の 1 階には食堂もあります。



このような環境で現在は勉強を行っていますが、4月の前半は授業がなく、代わりに手続きと住環境の整備に使いました。

まず、到着後チューターに連れられ、寮の設備や部屋、書類に関する説明を受けました。その時点で土曜の深夜であったので、各種手続きは月曜まで後回しとなりました。ドイツでは、日曜にはほとんどの店が閉まってしまうのです。

月曜日に全体オリエンテーションを受け、土日の生活で必要だと感じたものを購入しまし

た。日用品や洗剤、食料に電子機器などです。その後、日を追って住民登録、保険加入、学費の支払い、寮費の支払い、そしてビザ申請を4月中に行いました。

その間、いくつものトラブルに見舞われました。寮のインターネット接続を止められたり、寮費未払いの通知を受け取ったり、大学内 wi-fi に接続できなかつたりしました。

私が伝えたいことは、現金をなるべく多く準備するか、キャッシュカードやクレジットカードに海外キャッシングの機能を付けてから渡航してほしい、ということです。私は怠りました。というのも、キャッシング機能を利用しようとしていたのですが、前月分のクレジットカード料金の口座引き落とし日に残金が足りず、キャッシュカードを止められてしまったのです。寮費が足りずあわや退寮という事態になりましたが、海外送金に特化したサービスを利用することで現金を送ってもらい、事なきを得ました。

インターネットを止められていたのはまた別の理由があります。学費を払った後の正学生証を寮に送っていなかったのです。もらった書類の確認はチューターとしっかりしたほうがいいです。

4月は多くのトラブルに見舞われましたが、5月以降は余裕もできて落ち着いた大学生活を送れるのではないかと期待しています。